

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	情報通信サービスを活用した離島活性化プロジェクト		
(2) 実施団体名	離島地域高度情報化協議会	(3) 対象地域	壱岐市、対馬市
(4) 代表団体名	財団法人 ながさき地域政策研究所	(5) 推薦団体名	

(6)実施した取組の内容	取組①-1	無線LAN、情報提供端末の活用状況等調査		
	実施主体	西日本電信電話株式会社 福岡支店		
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:無線によるインターネットアクセスポイントを構築。また、3ヶ月分のログ(※1)を収集するための機器の設置。 ・実施時期:平成20年10月～平成20年12月 ・実施場所:厳原港、ホテル(対馬市) <p>※1…利用状況やデータ通信の記録をとること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:無線LANによるインターネットアクセスポイントの構築及びインターネットの利用できるPCを設置。また、3ヶ月分のログ(※1)を収集するための機器をPCに併設した。 ・実施時期:平成20年10月～平成21年1月(11月～1月アクセスポイント開放) ・実施場所:厳原港、ホテル対馬 <p>※1…利用状況やデータ通信の記録をとること。</p>
	取組①-2	無線LAN、情報提供端末の活用状況等調査		
	実施主体	財団法人 ながさき地域政策研究所		
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:設置した無線アクセスポイントの利用状況と来島者のニーズをアンケート調査により把握する。また、アンケートは対面方式とし、韓国人観光客も対象とし実施する。 ・実施期間:平成20年10月～平成20年12月 ・実施場所:厳原港、ホテル(対馬市) ・取組の目的:観光情報等を取って出来る環境を構築した場合の、来島者の満足度の向上とニーズを調査することにより、誘客における活用方を検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:無線LANによるインターネットアクセスポイント及び情報提供端末(PC)の利用状況と来島者のニーズをアンケート調査により把握。アンケート用紙はアクセスポイント、PC設置場所に併置すると共にホテル対馬フロントにおいて配布して頂き、回収箱で回収した。なお、アンケートは日本語版と韓国語版を作成し、韓国からの来島者からの情報収集も図った。 ・実施期間:平成20年11月1日～平成21年1月31日 ・実施場所:厳原港ターミナル、ホテル対馬 ・取組の結果:アンケート調査によって、観光情報等を取って出来る環境や機器の整備による来島者の満足度向上や今後のニーズ等が定量的に把握でき、今後のIT機器を活用した誘客戦略検討の参考とすることが出来た。(※H21.2中旬予定) 	
取組②	高速情報通信サービスの事業化可能性調査			
実施主体	西日本電信電話株式会社 福岡支店			
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:150kmを超える本土～対馬市間において、実験回線(100MB)を構築し、以下の実験を行う。 ①長距離における伝送実験・検証 ②大容量データ通信に対応するトラフィック検証 ・実施時期:平成20年9月～平成21年2月 ・実施場所:厳原、対馬佐賀、宗像 ・実施目的:150kmを超える距離での高速情報通信サービス提供が可能か検証する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:150kmを超える本土～対馬市間において、実験回線(100MB)を構築し、以下の実験を実施した。 ①長距離における伝送実験・検証 ②大容量データ通信に対応するトラフィック検証 ・実施時期:平成20年9月～平成21年2月(2月上旬までは実験環境の構築) ・実施場所:対馬佐賀、天神 ・取組の結果:150kmを超える距離でも、高速情報通信サービス提供が物理的に可能なことが実証された。(※H21.2月上旬予定) 	

	取組③-1 高速情報通信サービス提供による業務拡大可能性調査	
	実施主体 西日本電信電話株式会社 福岡支店	
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 本土～対馬市間において、「画像・映像転送における品質試験」を実施する。また負荷限界試験を実施する。なお、試験に際しては、既存誘致企業、医療関係者等の協力を得て実施する。 ・実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 ・取組の目的: 高速情報通信サービスが提供された場合の、離島地域の医療の充実と企業の業務拡大さらに新規進出の可能性を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 本土～対馬市間において、「画像・映像転送における品質試験」を実施。また負荷限界試験を実施。【協力: 対馬いづはら病院、㈱レオパレス21】 試験は、実験回線(100MB)に加え、比較回線(1M)を構築することで、100MBによる速度、品質がビジネスベースで活用が可能か検証した。 ・実施時期: 平成20年9月～平成21年2月(2月上旬までは実験環境の構築) ・取組の結果: 150km超の距離における100MBの高速情報通信サービスのビジネスベースでの活用が可能であることが明らかとなった。(※H21.2下旬予定)
	取組③-2 高速情報通信サービス提供による業務拡大可能性調査	
	実施主体 財団法人 ながさき地域政策研究所	
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 高速情報通信サービス提供がされた場合の、医師等による医療への活用の可能性について検証する。また島内外の企業にヒアリング調査及びニーズ調査を実施し、今後の業務拡大と新規企業の進出の可能性を調査する。 ・実施時期: 平成20年9月～平成21年2月 ・取組の目的: 高速情報通信サービスが提供された場合の、離島地域の医療の充実と企業の業務拡大さらに新規進出の可能性を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: 取組③-1において、高速情報通信サービスが医療等の現場における活用可能性が明らかになったことを踏まえ、医師及び対馬市内外の企業に対するヒアリング調査及びニーズ調査を実施し、離島医療への活用や今後の業務拡大、新規企業の進出の可能性について調査を実施した。 ・実施時期: 平成20年1月～平成21年2月(2月上旬までは実験環境の構築) ・取組の結果: 高速情報通信サービスを活用した医療データ(画像)等の通信や現在、壱岐市内において行っているコールセンター業務の事業拡大の可能性が明らかとなり、今後の離島医療の充実や企業誘致、既存企業の業務拡大に向けた検討が可能となった。(※H21.2下旬予定)
(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	
	<p>長崎県・・・事業全体のハンドリング、取りまとめにおける各種調整 西日本電信電話(株)福岡支店・・・各種実証実験の実施・検証 (財)ながさき地域政策研究所・・・実験結果の分析、検討、アンケート調査の実施・分析 壱岐市・対馬市・・・実験、アンケート等における地元調整 長崎県離島医療圏組合・・・助言、アドバイス</p>	取組の実施を踏まえた反省点
		当初の実施体制計画のとおり実施。

(8)取組により得られた成果	○成果1→	無線LAN及び情報提供端末(PC)におけるインターネットへの一日あたりのアクセス数の把握	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		0回	状況の把握
	H20(実際に得られた成果)		
	平成20年11月1日の供用開始後、対馬市内2カ所(厳原港、ホテル対馬)の調査地点に設置した無線LAN、情報提供端末(PC)の利用状況をアクセスログに基づき分析したところ、来島者の利用傾向(曜日、閲覧先(国内・国外)など)が明らかとなった。		
	○成果2→	高速情報通信サービスの事業化可能性の検証	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		ATM通信による高額な情報通信サービス	イーサ通信による低廉な情報通信サービス提供が可能なことの確認
	H20(実際に得られた成果)		
	実証実験の結果、技術的にはイーサ通信による低廉な情報通信サービス提供が可能ことが確認された。(※H21.2中旬予定)		
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	○成果3→	高速情報通信サービスの提供による企業誘致、誘致企業の業務拡大、医療現場への活用可能性の調査	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		—	活用可能性の検証
	H20(実際に得られた成果)		
	150kmを超える距離においても、物理的にサービス提供が可能ことが実証された高速情報通信サービスの医療現場への活用や当該サービスを利用した業務を行っている企業の業務拡大または新規進出の可能性が明らかになった。(※H21.2下旬予定)		
(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度	
	1、民間通信事業者によるサービス提供に向けた初期投資軽減策の検討と需要の確保(H21年度)	【活動見込み】 1、民間通信事業者によるサービス提供に向けた初期投資軽減策の検討と需要の確保(H21年度)	
	2、民間通信事業者によるサービスの提供開始(H22年度)	2、民間通信事業者によるサービスの提供開始(H22年度)	
		【希望する支援制度】 本土～離島間の既存光ファイバを活用し、離島へ高速情報通信サービスを提供するために必要な電気通信事業者が行う環境整備に対する財政支援制度の創設	

情報通信サービスを活用した離島活性化プロジェクト (長崎県壱岐・対馬地域)

- 離島地域高度情報化協議会 -

◆主な実施取組の内容◆

取組①: 無線LAN、情報提供端末の活用状況等調査
実施主体: 西日本電信電話(株)、(財)ながさき地域政策研究所
実施内容・結果: 無線によるインターネットアクセスポイントを構築。アンケート調査等を参考に、誘客における活用方法を提言(※予定)

【厳原港】



【ホテル対馬】

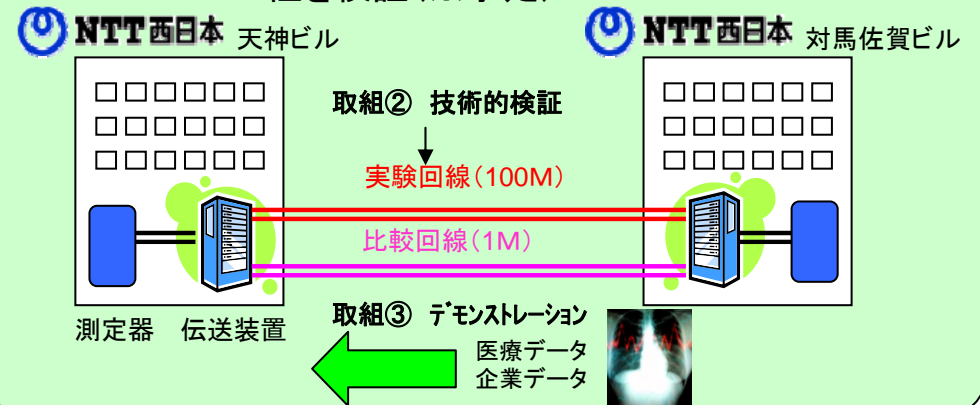


【無線LAN】



取組②: 高速情報通信サービスの事業化可能性調査
実施主体: 西日本電信電話(株)
実施内容・結果: ①150kmを超える距離での伝送実験
②大容量データ通信に対するトラフィック検証

取組③: 高速情報通信サービス提供による業務拡大可能性調査
実施主体: 西日本電信電話(株)、(財)ながさき地域政策研究所
実施内容・結果: 高速情報通信サービスが提供された場合の医療分野や企業誘致等における活用の可能性を検証(※予定)



◆取組実施による成果・今後の展開◆

今回の実験により、技術的課題がクリアされたため(※予定)、今後、民間通信事業者によるサービス提供に向けた初期投資軽減策の検討と需要の確保を検討